

所 属	林政部 森林整備課		
担当(係)名	森林組合・担い手担当	内線	3194

林業の担い手対策の推進

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
30,014	国庫 1,373	補助金 24,709
(前年度35,238)	一般財源 28,641	委託費 3,031

2 背景・現状

森林技術者数は減少傾向からこの数年はほぼ横這いとなっているが、健全で豊かな森林づくりの推進には、なお一層の森林技術者の確保・育成が必要である。

森林技術者数の推移：	2,524人(H元)	1,137人(H18)	1,145人(H19)	1,156人(H20)
50歳以上の森林技術者の割合：	80%(H元)	47%(H20)	年齢構成の平準化が進行	

3 事業目的

林業への就業を希望する求職者等を対象に、林業という仕事そのものを知ってもらうための事前研修を開催し、速やかな就業を促進する。就業後は林業事業体が行き届く森林技術者の育成を積極的に支援し、低コスト林業が実践できる人材づくりを目指す。

4 事業概要

- (1)【就業前対策】<森林技術者の確保> ~就業相談・林業体験~
- ア 林業就業者養成促進事業費 [1,558千円の内数]
将来の担い手となる農林高校生(林業関係学科)の林業体験学習を実施
 - イ 青少年山しごと体験事業費 [750千円]
青少年の林業に対する興味を喚起するための林業体験活動を実施
 - ウ 緑の担い手参入研修事業費 [2,000千円]
就業希望者に林業を知ってもらうための就業前研修や就業相談を実施
- (2)【就業後対策】<森林技術者の育成>
- ア 新規就業者研修 ~基本的な知識・技術の習得~
きこり養成塾支援事業費補助金 [18,723千円の内数]
林業事業体が行き届く森林技術者育成のための実践的な研修実施を支援
 - イ 中堅技術者研修 ~高度な専門知識・技術の習得~
(ア)森林組合等指導強化推進費 [756千円]
作業箇所をまとめ森林所有者に働きかける人材(プランナー)を養成
(イ)きこり養成塾支援事業費補助金 [18,723千円の内数]
(ウ)林業就業者養成促進事業費 [1,558千円の内数]
高性能林業機械のオペレーター、素材生産チームを養成
(エ)林業労働力確保支援センター事業費補助金 [2,746千円]
将来の作業班リーダー(班長)となる人材を養成



就業相談



就業前研修



OJTによる技術者養成

(款)6 農林水産業費 (項)5 林業費 (目)(6)森林整備費
(明細書事業名) 森林組合等強化対策費 林業労働者就業対策費
森林組合等指導強化推進費・きこり養成塾支援事業費補助金
青少年山しごと体験事業費・緑の担い手参入研修事業費 他